

担当教員授業題目		地質環境科学実習 (茨城大学)			担当教員	山口 直文	
英文授業名		Practices for Environmental Geology			副担当教員		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中	対象学年	3
授業形態	実習	備考	4泊5日の合宿形式で行う				
<p>(1) 授業のねらい (到達目標)</p> <p>過去の環境変化を復元する手がかりとなる地層や地形を調べるための様々な堆積物採取手法や調査分析手法を実践的に学ぶ。</p> <p>(2) 授業の概要</p> <p>潮来市にある茨城大学水圏環境フィールドステーションの周辺をフィールドとして、9月に4泊5日の実習を行う。未固結堆積物の観察、サンプル採取、粒度分析などの体験を通して、地層・地形の形成過程と環境復元の方法を学ぶ。</p> <p>(3) 授業計画</p> <p>1. 第四系海成堆積物（下総層群）の観察・記載・柱状図作成</p> <p>2. 霞ヶ浦北浦における湖底堆積物の採取と観察</p>				<p>3. レーザー回折式粒度分析装置を用いた堆積物の粒度分析</p> <p>4. 現世海浜でのジオスライサーおよびハンドオーガーを用いた簡易掘削と堆積物の観察</p> <p>5. 霞ヶ浦周辺の地形観察</p> <p>(4) 成績評価の方法</p> <p>提出物（実習中の作成物、レポート）の内容で評価する。</p> <p>(5) 履修上の注意</p> <p>学生教育研究災害傷害保険（又は同等の保険）に加入していることを必須とする。茨城大学水圏環境フィールドステーションの公開臨湖実習への申込みを合わせて行うこと。天候などの事由により、実習内容を変更する場合がある。実習費用は、宿泊費・食費等で約 20,000 円の予定である。</p> <p>(6) 質問, 相談への対応</p> <p>詳細な実習内容や、実習前後での質問・相談についてはメールで随時受け付ける。</p> <p>連絡先アドレス : naofumi.yamaguchi.sci@vc.ibaraki.ac.jp</p>			
【教科書】 使用しない							
【参考書】 「フィールドジオロジー入門」 共立出版. 「堆積物と堆積岩」 共立出版. 「堆積構造の世界」 朝倉書店.							